



＜「日本一楽しい学校」を目指しましょう。＞

先週木曜日には「春一番」が吹きました。立春から春分の間に吹く、その年初めての、南からの暖かく強い風のことを言います。まだまだ寒い日もありますが、このように暖かい日と寒い日の両方が表れるようになると、いよいよ春が近づいてきます。



劇団四季が各地で行っている「こころの劇場」の上演があり、ミュージカル「エルコスの祈り」を6年生が鑑賞しました。すぐ間近で見る出演者の歌や振付は、とても迫力がありました。舞台装置や衣装なども、すごいなと思いました。



3学期の放課後個別学習会が始まりました。もうすぐ学年末です。この1年間に学習したことを振り返り、苦手なと感じることや、ちょっと分かりにくいなと思う部分があれば、復習しておく、新学年でのいいスタートにつながります。



4年生は陶芸体験を行いました。水軍焼の窯元さんに教えていただきました。粘土をこねて、器や皿、カップなど、思い思いの作品が仕上がっていききました。形や模様など、とても工夫されていました。焼き上がるのが楽しみですね。



「初心忘るべからず」という言葉を知っていますか。皆さんは2学期に能楽を鑑賞しましたが、室町時代の能楽者、世阿弥の言葉だそうです。現在は「最初の志を忘れてはならない」という意味で使われています。世阿弥は、初心者で未熟だった頃に、上手いかなかったときのことや、そのときに味わった悔しさ、恥ずかしさ、そして、そこからどんな努力を重ねてきたか、どうやって困難や壁を乗り越えてきたか、そうした経験を忘れないように、と言っていたそうです。どちらも大切な考え方ですね。

